

# 会 議 録

□全部記録    ■要点記録

<b>1 会議名</b>	令和2年度 第1回 姫路市総合教育会議
<b>2 開催日時</b>	令和2年5月29日（金）14時～15時
<b>3 開催場所</b>	姫路市北別館 4階 403会議室
<b>4 出席者又は欠席者名</b>	<p>〔構成員〕</p> <p>清元市長、松田教育長、松本教育長職務代理者、田寺教育委員、吉田教育委員、山下教育委員、森下教育委員</p> <p>〔関係者〕</p> <p>黒川副市長、高馬副市長、和田市長公室長、岡本教育次長</p> <p>〔事務局〕</p> <p>企画政策推進室   ：田邊室長、池田主幹、松浦係長、溝口主任</p> <p>教育委員会事務局：平田教育総務部長、原田学校教育部長、北野城内図書館長、殿垣総務課長、井上学校指導課長、藤原健康教育課長、村山教育研修課長、寰島総務課課長補佐</p>
<b>5 傍聴の可否及び傍聴人数</b>	傍聴人 3名
<b>6 議題又は案件及び結論等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学校園の再開後の対応について</li> <li>・ ICTを活用した学習支援について</li> </ul>
<b>7 会議の全部内容又は進行記録</b>	詳細については別紙参照

## 【議題1】 学校園の再開後の対応について

### (1) 学校園の感染防止対策

- ・ 手洗い場蛇口の自動水栓化は、良い取組である。
- ・ 手洗い場の3密を避けるため、他都市では、ホースに一定の間隔で穴をあける方法も採られている。
- ・ 子どもたちは、集団になろうとするので、現場の教師は大変であると思う。
- ・ 特に、小学校1年生・2年生は、登下校中の見守りが必要であるため、例えば、1年生と6年生、2年生と5年生をグループにして、登下校や授業時間をずらすことを検討してはどうか。

### (2) 大規模校の規模適正化検討

- ・ 大規模校については、中長期的には、必ず見直す必要があるが、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の対応としては、1クラスあたりの人数を減らし、教室数を増やす必要があるのではないかと。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の状況下において、1クラス40人学級では厳しい。適正規模を検討する中で、1クラスの定員を議論する必要があるのではないかと。
- ・ 自宅から遠くても、児童・生徒数に余裕のある学校に通わせた方が安全との考え方も出てくるのではないかと。
- ・ 学校そのものが3密であるため、将来的に、新型コロナウイルス感染症と付き合っていくことになれば、社会が分散していくという価値観に変わっていくかもしれないことを想定して、規模を検討する必要がある。

### (3) 市立高等学校のあり方検討

- ・ 市立高校については、中高一貫教育など、市立だからこそできることもあるのではないかと。世間のニーズを読みながら、考えていく必要がある。

## 【議題2】 ICTを活用した学習支援について

### (1) 図書館のデジタル化

- ・ 「図書館のデジタル化」に向けては、禁帯出のデジタル化を優先し、一般的に社会に流通している本については、既存事業者のサービスを利用する際に、低価格で利用できる仕組みを検討してはどうか。
- ・ 図書館分館にアナログの機能を置く一方で、デジタルライブラリーを活用できればよい。
- ・ 古文書をPDFに変換して保存してもらいたい。

### その他

- ・ 本人や家族が濃厚接触者・感染者となった場合の、児童・生徒の心のケアが重要である。